

平成 30 年度活動報告

本年度は、一昨年にハウスの屋根の修理が完了し雨漏りがなくなったことで、生ごみの発酵状態が良くなり、さらにスタッフの作業効率も格段と向上し、良質な堆肥の生産が可能となりました。

安定した経営継続のメドをたてるべき重要な年として、下記の事業を実施しました。

1 小学生への環境教育

- ・伊万里・立花・大坪・二里小学校の3・4年生（約 300 名）に対して、佐賀大学農学部の染谷教授の協力を受け、例年通り環境教育を実施しました。

2 生ごみ提供事業所の会員増強活動およびステーション増設活動

平成 29 年度は 0 増 4 減（全店廃業）となり残念な状態でしたが今年度は 3 増 1 減と理事メンバーの協力によって実現しました。増加事業所の中には、学校給食センターが含まれており、公立保育園 6 園と合すると伊万里市の全教育関係機関の生ごみ回収の委託契約が実現しました。

市民の生ごみステーション増設活動は、平成 29・30 年度の二年計画であさひが丘団地と今町区でモデル事業を実施し、今町 2 ヶ所 13 世帯あさひヶ丘 2 ヶ所 30 世帯の増設となりました。

3 一部事業所（産廃）の料金値上げと食品関連事業所に対する消費税の徴収

食品関連事業所のこれまでの料金は、事業系一般廃棄物も事業系産業廃棄物も同じ回収料金（トン 2 万円）でしたが、平成 31 年 2 月分から事業系産廃事業者の料金をトン 3.5 万円に改正し適正な料金としました。

消費税もこれまで内税にしていたものを平成 31 年 2 月分から外税でお願いし経営の安定を目指しました。

4 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員増を目指しましたが、思うような拡大に至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上により販売先が佐世保、武雄、有田、多久、佐賀等にも広がるなど知名度も高まっています。

5 菜の花プロジェクト活動の推進

- ・いまり菜の花の会との協働で「環境杯グランドゴルフ大会」、市内全保育園への菜の花苗と堆肥の配布、保育園児による菜の花図画展、佐賀県菜の花栽培経験交流会等を開催し、菜の花の普及啓発活動を実施しました。

5 国際協力への貢献

JICA 紹介によるアルゼンチン、ボリビア、アフガニスタン、スリランカ等 13 か国から 3 団体 20 名の視察研修を受け入れました。